

【開催要綱】

和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター シンポジウム

「紀伊半島大水害から 15 年 ― 過去・現在、そして未来へ ―」

1. 開催趣旨・目的

和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センターは、地域に根ざした防災・減災・復興の研究と実践を進めてきました。本シンポジウムでは、紀伊半島大水害から 15 年を迎える節目に、行政、地域住民、研究者、学生が一堂に会し、被災当時の状況から復旧・復興の歩み、そして将来の課題を共有します。災害の経験を単なる過去の出来事としてではなく、「地域の共有知」として位置づけ、次世代へ語り継ぐことで、未来のレジリエンス（回復力・強靱性）を高める場を提供します。

地域に根ざした国立大学として、災害の記録と教訓を学術的に整理・発信し、行政・地域・住民・次世代をつなぐ場として、本シンポジウムを開催します。

2. 主催

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター

3. 開催概要

項目	内容
開催日時	令和 8 年 11 月 23 日（月祝）12:30～16:30（受付 12:00～）
開催形式	対面開催
会 場	和歌山県立情報交流センター Big・U 会議室 1（和歌山県田辺市新庄町 3353-9）
定 員	定員 100 名（当日先着順・事前申込不要）
参加費	無料
対 象	一般市民、防災関係者、自治体職員、教職員、学生、研究者など

4. プログラム（予定）

時間	内容	登壇者
12:30～12:35	開会挨拶	本山 貢（和歌山大学長）
12:40～13:15	基調講演 1 「紀伊半島大水害の実態」	後 誠介（和歌山大学客員教授）
13:20～13:55	基調講演 2 「紀伊半島大水害からの復旧・復興」	竹下 航（国土交通省近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所長）
13:55～14:05	（休憩）	
14:05～14:40	基調講演 3 「土砂災害に対する啓発活動」	木村 洋郎（和歌山県土砂災害啓発センター所長）
14:45～15:00	防災絵本読み聞かせ 「川がパンクしちゃった！ もりのがっこうとどうぶつたち」	佐藤 愛美（智辯学園和歌山中学校 3 年生／防災士）
15:00～15:15	トークショー	佐藤 愛美 & 後 誠介

15:15～15:25	(休憩)	
15:30～16:25	パネルディスカッション	コーディネーター：江種 伸之（センター長） パネリスト：後 誠介、竹下 航、木村 洋郎、谷口 順一（伏菟野の明日を考える会 代表）
16:25～16:30	閉会挨拶	江種 伸之（和歌山大学 災害科学・レジリエンス 共創センター センター長）

5. 参加申込・注意事項

- ① **一般参加：事前申込は不要**です。当日、直接会場へお越しください。
- ② **入場制限**：会場の定員（100 名）を超過した場合は、安全確保のため入場をお断りすることがあります。
- ③ **合理的配慮**：会場内には当初より要約筆記を配置いたします。

※要約筆記とは話し手の内容をその場で要約し文字で伝える情報保障支援です。

6. お問い合わせ先

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター（事務局）

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 番地

TEL： 073-457-7558 （土日祝除く 10 時～16 時）

E-mail： saigai[a]ml.wakayama-u.ac.jp （*送信時 [a] を @ に変更してください）

ホームページ： <https://www.wakayama-u.ac.jp/disaster/>

